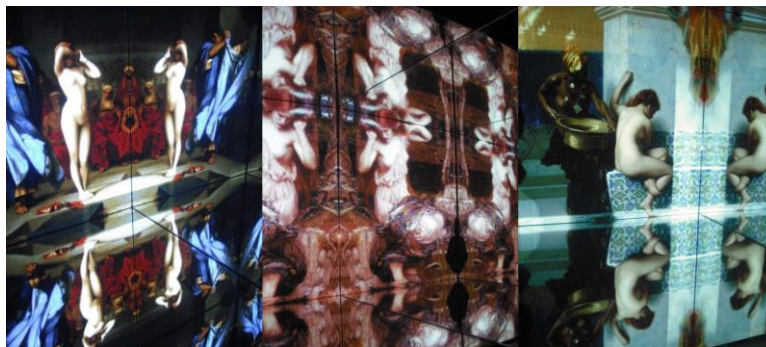


前後期に分けて8名の作家を紹介

「ポーラ ミュージアム アネックス展2018 後期」

若手アーティストによるグループ展 3月23日(金)より



左：村上亘「Still Life Tracing (Last Days in Karlsruhe)」 2017年
60×75cm 素材：インクジェット・プリント

右：今村綾「Kaleidoscope」 2015年 45×65×65cm 素材：鏡、プロジェクター

ポーラ ミュージアム アネックス(中央区銀座1丁目)では、今年も前後期に分けて「ポーラ ミュージアム アネックス展 2018」を開催します。後期となる今回は「イメージと投影」をテーマに2018年3月23日(金)から4月22日(日)まで開催します。

本展では過去に公益財団法人ポーラ美術振興財団での若手芸術家の在外研修に対する助成において、採択されたアーティストの作品を展示します。ポーラ ミュージアム アネックスでの発表をきっかけに、今後の活動に活かしていただきたいという趣旨から開始致しました。

今回もポーラ美術館 木島俊介館長 監修のもと、前期と後期合わせて8名のアーティストが選ばれ、後期では、村上亘・富田香代子・今村綾・古川あいかの作品をご紹介します。

若手芸術家の在外研修に対する助成とは、公益財団法人ポーラ美術振興財団が毎年実施している活動のひとつで、35歳以下のアーティストを対象に海外での研修を援助し、日本の芸術分野の専門性を高めていこうとするものです。

|| 展覧会概要 ||

展覧会名：ポーラ ミュージアム アネックス展 2018 後期 - イメージと投影 -

会 期：2018年3月23日(金) - 4月22日(日)【30日間】*4月16日(月)休館

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団

協 力：シャンパーニュ ポメリー

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入 場 料：無料

U R L：http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

Ⅱ 監修者プロフィール Ⅱ

木島 俊介：ポーラ美術館館長。1939年鳥取県生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、美学・美術史専攻。フィレンツェ大学、ニューヨーク大学大学院、同美術史研究所に学ぶ。群馬県立近代美術館館長および群馬県立館林美術館館長、共立女子大学教授等を務め、現在、同大学名誉教授、東急文化村ザ・ミュージアム プロデューサー。主要著書は、『美しき時祷書の世界』（中央公論社）、『アメリカ現代美術の25人』（集英社）、『女たちが変えたピカソ』（中公文庫）、『名画が愛した女たち 画家とモデルの物語』（集英社）、『クリムトとウィーン』（六耀社）、翻訳書に、『ヨーロッパの装飾芸術 全3巻』（中央公論新社）など。

Ⅱ 監修者コメント Ⅱ

『ポーラ ミュージアム アネックス展』は、公益財団法人ポーラ美術振興財団が、1996年以来実施している「若手芸術家の海外研修助成」を受けられた方々の研修の成果をご披露いただく展覧会として毎年開催されてきており、2010年に開始されて以来、今回で13回を迎えることとなる。助成研修者の総数は342人に達し、アネックス展への参加者も52人を数える。

今回の展覧会には「イメージと投影」というタイトルが与えられているが、この言葉にそって出品作品が選ばれているわけではなく、監修者が4人のアーティストに任意に参加を依頼し、作品は各アーティストの自由な創意と制作に委ねられている。人の体内には無尽蔵のイメージが蓄積されているわけだが、それらは果たして物質であるのか、そうではないのか、謎のままであろう。だが、これらがアーティストによって彼の体外に投影されると、明らかに物質として存在することとなる。では、この物質の投影するイメージとは？個々のアーティストの謎に迫る興味は尽きないのである。

Ⅱ 公益財団法人ポーラ美術振興財団の活動概要 Ⅱ

公益財団法人ポーラ美術振興財団では美術分野などの若手芸術家及び美術の専門職員に対する助成活動を行っています。主に美術分野における研究活動テーマを広く一般から募集し、有識者で構成される選考委員会によって採択・助成し、日本文化の向上、発展に寄与することを目的に以下の活動を行っています。

【参考資料：平成29年度助成採択内容】

	(採択数)	(助成金額)
(1)若手芸術家の在外研修に対する助成	15件	4,402万円
(2)美術館職員の調査研究に対する助成	12件	2,136万円
(3)美術に関する国際交流の助成	12件	2,165万円

|| 作家プロフィール ||

村上 亘 (Wataru MURAKAMI)

1983年 愛媛県生まれ

2006年 上智大学比較文化学部比較文化学科卒業

2012年 DAAD - Prize for the outstanding achievement of foreign student in Germany
(ドイツ学術交流会によるドイツ在住外国人学生優秀賞)

2013年 ZKM Födergesellschaft (カールスルーエ・アート・アンド・メディア・センター奨学金、ドイツ)

2015年 ポーラ美術振興財団在外研修員 (ドイツ)

2016年 国立カールスルーエ造形大学メディア・アート学部写真科卒業 (ドイツ)、野村財団芸術文化奨学金 (ドイツ)

2016年~2018年 Das Stipendium nach dem Landesgraduiertenförderungsgesetz (ドイツ国立大学卒業生助成金)

【主な展覧会】

2013年 「Pretty Vacant」 Villa Renata (バーゼル、スイス)

2015年 個展 「Installing Prints in Takeshi's Castle」 Casa á Casa (八王子)

2016年 個展 「Still Life Clusters - Works Combined from 7 out of 13」

国立カールスルーエ造形大学 (カールスルーエ、ドイツ)

個展 「Blind Spot」 Anna Klinkhammer Galerie (デュッセルドルフ、ドイツ)

「Objects in Mirror are Closer than they Appear」 Parrotta Contemporary Art

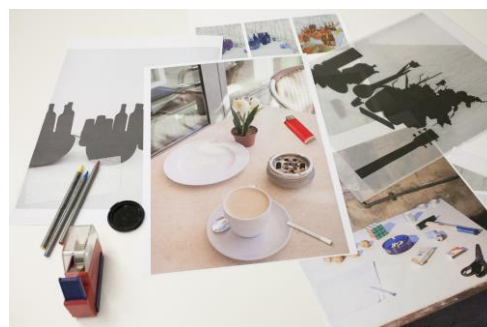
(シュテュットガルト、ドイツ)

2017年 「Open Minded」 Kunstwerk Sammlung Klein (エーバーディングゲン、ドイツ)

「I Hope You Consider What I Arranged, But Be Skeptical Of It」

Palermo Galerie (シュテュットガルト、ドイツ)

URL: <http://www.watarumurakami.com>



「Still Life Tracing (One Can Surely Notice)」

2017-2018年 21 x 31.5 cm

素材：インクジェット・プリント

富田香代子 (Kayoko TOMITA)

1988年 京都府生まれ

2010年 札幌市立大学デザイン学部メディアデザインコース卒業

2015年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (ドイツ)

2016年 ハレ・ブルクギービヒェンシュタイン芸術大学

メディアアート専攻卒業 (ドイツ)

ザーレシュパーカッセ芸術賞・優秀賞受賞

【主な展覧会】

2013年 「Der Globus ist unser Pony. Der Kosmos unser

richtiges Pferd.」 Burg Galerie im Volkspark (ハレ、ドイツ)

「Reflexion - "IKIRU: POST-TSUNAMI- Fotografie aus Japan"」 Galerie f2 (ハレ、ドイツ)

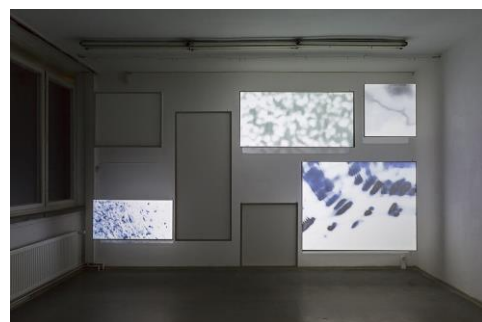
2015年 「backup 17.」 国際ショートフィルムフェスティバル (ワイマール、ドイツ)

「I know, you know – Ein audiovisueller Dialog」 Werkleitz Festival (ハレ、ドイツ)

2016年 「Perfect Creatures」 a room that (ライプツィヒ、ドイツ)

「CAMP/2」 フィルム&パフォーマンスアートフェスティバル (ハレ、ドイツ)

URL: <http://www.kayokotomita.com>



「Mimetic Expressions of Fragments」 2016年

素材:HD ビデオインスタレーション、カラー、サウンド
サイズ:4:55 min、可変 Photo by Matthias Ritzmann

今村綾 (Aya IMAMURA)

1982年 京都生まれ

2006年 京都精華大学芸術学部版画専攻卒業

2008年 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了

2015年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (ドイツ)

2016年 公益財団法人野村財団奨学助成 (ドイツ)

【主な展覧会】

2007年 個展 VOICE GALLERY pfs/w (京都)

2009年 レジデンスフェロー Künstlerdorf Schöppingen
(ショーピングェン、ドイツ)

2010年 レジデンスフェロー The Jyväskylä Art Museum (ユバスキュラ、フィンランド)

2013年 「in.print.out」, Künstlerhaus Wien (ウィーン、オーストリア)

「CuttingEdgePrinmaking exhibition & symposium」 the Academy of Fine Art in Krocaw
(クラクフ、ポーランド)

「京都市美術館開館80周年記念展 京の美・コレクションの美・明日への美
～京都市美術館コレクション問わず語り」京都市美術館 (京都)

2014年 レジデンスフェロー Sculpture Space Inc. founded in part
by the National Endowment for the Arts (ユティカ、アメリカ)

2015年 「Connected in Art – 25 Jahre」 Mecklenburgisches Künstlerhaus Schloss Plüschow
(プルショー、ドイツ)

2017年 「Contemporary Japanese Graphic Art」 (スプリト、クロアチア)
ベルリン日独センター (ベルリン、ドイツ)

<http://aya-imamura.com/>



「double」 2014年
素材：5500枚 A4紙にインクジェット、万力

古川 あいか (Aika FURUKAWA)

1982年 愛知県生まれ

2008年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻 卒業

2010年 LIA-ライプツィヒ国際芸術プログラム (ドイツ)

2012年 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員 (ドイツ)

2014年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (ドイツ)

2015年 公益財団法人野村財団芸術文化助成 (ドイツ)

2016年 アシャースレーベン市奨学 (ドイツ)

【主な展覧会】

2015年 個展 「マス プライヴァシー」 KOMAGOME1-14cas (東京)

個展 「しわくちゃ」 Spinnerei Archiv massiv (ライプツィヒ、ドイツ)

「あいちトリエンナーレ地域展開事業」旧豊川信用金庫 (愛知)

「ハビトゥス」 ベルリン日独センター (ベルリン、ドイツ)

「18th DOMANI・明日展 未来を担う芸術家たち」国立新美術館 (東京)

2016年 「DOKODEMODOOR」 Spinnerei Werkschauhalle (ライプツィヒ、ドイツ)

「異空間のアーティスト」豊川市桜ヶ丘ミュージアム (愛知)

「奨学者展」 Bestehornpark (アシャースレーベン、ドイツ)

個展 「複数の空間」新宿高島屋10階美術画廊 (東京)

2018年 個展 「three spaces and one centre」 Galerie Drei Ringe (ライプツィヒ、ドイツ)

URL: www.furukawaika.com



新宿高島屋10階美術画廊展示風景 「Drawing」
「Configuration-10.13」「Configuration-8.5」
素材：透過カンバス、膠、アクリル、油彩
Photo by Y.Deguchi